

「地方創生カレッジ in 岐阜」 ワークショップ等の成果のポイント

1. 地域課題・テーマ

(東濃地域:恵那市会場)
駅前商店街の活性化

(岐阜地域:岐阜市会場)
柳ヶ瀬商店街の活性化

(西濃地域:養老町会場)
養老起点の地域ブランディングを考える

2. 現状と問題点

(東濃地域)
恵那市では、中心市街地に大手スーパーマーケット(バロー)があるほか、直近に郊外型ショッピングモール(アクロスプラザ恵那)が開発され、駅前商店街から客足が遠のいており活性化が急務である。

(岐阜地域)
かつて栄えた柳ヶ瀬商店街では、空き店舗のリノベーションが盛んに行われ始めているが、それだけでは商店街の復興は見込めないとの課題認識がある。

(西濃地域)
養老町では、少子高齢化や若年層の流出などから深刻な人口減少問題に直面しており、移住定住を促進する観点からも関係人口・交流人口の増加を目指す必要があり、西濃地域一帯の共通課題である。

3. 目指すべき方向性・将来像と実現に向けた具体的施策

(東濃地域)
・地方創生カレッジの講座に学び、大手流通業態に対抗するための商店街の具体的な活性化策を検討する場となり、先行事例を参考に主体的に考える機運が生まれた。
・官民連携講座の参加者で意見を出し合い、新しい商店街やお店の魅力を発信して、新たな集客につなげるアイデアを官民が一体となって検討する端緒となった。
・市役所職員参加のもと地域金融機関ならびに直系シンクタンク、及び公的支援機関や業界団体を共催者としたことから、地方創生カレッジの利活用ならびに地方創生を地域に深く根ざした活動とするための社会基盤が形成された。今後は地方公共団体の予算によってワークショップ開催等による官民連携による意思決定のプロセスが実行されることが必要となる。

(岐阜地域)
・地方創生カレッジの講座に学び、リノベーション後の柳ヶ瀬商店街の振興策を検討する場となり、先行事例を参考に主体的に考える機運が生まれた。
・官民連携講座の参加者で意見を出し合い、新しい柳ヶ瀬商店街の姿を創造する第一歩につなげるアイデアを官民が一体となって検討する端緒となった。
・市役所職員参加のもと地域金融機関ならびに直系シンクタンク、及び公的支援機関や業界団体を共催者としたことから、地方創生カレッジの利活用ならびに地方創生を地域に深く根ざした活動とするための社会基盤が形成された。今後は地方公共団体の予算によってワークショップ開催等による官民連携による意思決定のプロセスが実行されることが必要となる。

(西濃地域)
・地方創生カレッジの講座に学び、地域ブランディングの先行事例、作り方進め方を検討する場となり、主体的に考える機運が生まれた。
・官民連携講座の参加者で意見を出し合い、養老町の魅力を再認識して情報発信し、交流人口増の第一歩として新たな流入人口増加につながるアイデアを検討する端緒となった。
・町役場職員参加のもと地域金融機関ならびに直系シンクタンク、及び公的支援機関や業界団体を共催者としたことから、地方創生カレッジの利活用ならびに地方創生を地域に深く根ざした活動とするための社会基盤が形成された。今後は地方公共団体の予算によってワークショップ開催等による官民連携による意思決定のプロセスが実行されることが必要となる。

「地方創生カレッジ in 岐阜」 ワークショップ等の成果のポイント

4. 今回のワークショップやディスカッションを通じて得た気づき(官民連携、人材交流の効果等)

(東濃地域)

・恵那市会場で特筆すべき点は、東濃信用金庫による積極的な集客告知から、商店街復興の先進事例として最近注目されている名古屋市内の「円頓寺商店街」でまちづくりに関わる事業者らが参加したことである。彼らは空き家・空き店舗のリノベーションから商店街活性化に取り組んでいるが、こうしたまちづくりに関する合意形成のプロセスを経ておらず、受講後のフィードバックとして高い興味関心と満足度が寄せられ、地方創生カレッジの積極的な利活用が恵那市にとどまらず、広域に渡って見込まれる。

(岐阜地域)

・岐阜市会場で特筆すべき点は、県職員(商工労働部)、市職員(まちづくり推進部/商工観光部産業雇用課)が出席し、グループワークにも積極的に参加したことにある。県職員は日常の業務で地域住民や事業者と直接対話する機会がない。まちづくり推進部の市職員はリノベーションまちづくりを推進しているが、今回異なるアプローチで中心市街地活性化における合意形成のプロセスに接した。商工観光部産業雇用課の市職員は、日頃の商店街との関わりは手続き申請の受理にとどまっている。

・全てのテーブルに柳ヶ瀬商店街の店主(商店街組合振興会の各代表者)が着席し、幅広い分野の参加者と同席して現状の課題やあるべき姿について情報を共有して話し合いを行ったことの意義は非常に高い。

(西濃地域)

・養老町会場で特筆すべき点は、大垣共立銀行による積極的な集客告知から、養老町近辺の多くの自治体職員ならびに連携協定を結ぶ大垣西濃信用金庫職員も大勢参加し、共通の課題認識のもとで地方創生に取り組む機運が高まったことにある。話し合いの実績はあるものの、地方創生カレッジを学んだことで新しい視点論点を得られたなどといった感想が寄せられており、今後においては西濃地域の広範囲に渡って地方創生カレッジの積極的な利活用も見込まれる。

「地方創生カレッジ in 岐阜」 ワークショップ等の成果のポイント

5. 成果スキーム図 (3地域共通)

【参加者(職種別)の成果】

